基調報告

よかことしよう会は 平成27年に設立し、6年が経過いたしました。ファミリーハウス佐賀は 平成29 年度より、5室で運営され、延べ●名の方々にご利用いただきました。ファミリーハウスを支えるボランティア、スタッフの皆様のご努力に感謝します。

令和2年度からは世界的な新型コロナウイルス感染症のパンデミックによる入院患者減少、面会制限の影響で、ファミリーハウス佐賀の利用者が減少しました。

しかし、令和４年度は3月に4部屋同時利用があるなど利用者が増加しました。

この 1 年間の活動を支えてくださいました皆様方に御礼申し上げるとともに、今後ともこの活動にご支援ご協力賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

**＜参考＞ファミリーハウス佐賀の延べ利用者**

＊2017年5月（開設）～2018年3月末（11か月間）　述べ66名　利用日数は120日間

＊2018年4月～2019年3月27日（約1年間）　延べ利用者90名　利用日数は137日間

＊2019年4月～2020年3月（1年間）　延べ利用者数39名　利用日数は111日間

＊2020年4月～2021年3月（1年間）　延べ利用者数22名　利用日数は38日間

＊2021年4月～2022年3月（1年間）　延べ利用者数25名　利用日数は29日間

＊2022年4月～2023年3月（1年間）　20件の利用があり、（前年度は10件）利用日数は62日間

2022年度事業報告

1. ファミリーハウス佐賀のホスピタリティー維持の支援にかかわる事業
2. 利用者の忘れ物確認：事務スタッフが利用者の退室後に忘れ物がないかの確認をし、お部屋の空気の入れ替えを行っている
3. お部屋の清掃：各室内の日常清掃は利用者とよかことしよう会の事務スタッフで行い、お部屋の衛生に努めている。
4. 寝具リネンの集配や洗濯・管理：各室の寝具リネン（布団カバー・シーツ）のクリーニング店への運搬・管理を事務スタッフが行って、清潔なリネンを提供することができた。風呂マット、枕カバー、クッションカバーについてはファミリーハウス内で洗濯を行い、利用者に快適に過ごしてもらうことができた。定期的にボランティアメンバー（1.5名）が清掃にかかわっている。
5. ファミリーハウス内の備品・消耗品管理

・Wifiが設置され、利用者の方から良い反応を得ている。

・クリスマスツリーを医事課より譲り受けた。

Room3の飾り時計が故障している。修理不能であり、今後更新を検討する。

1. 利用者アンケートの集計など

今年度は13件のアンケートが回収された。「大学敷地内であるが、病院から遠い」との意見が2件。また駐車場に関する意見があった。

【アンケート内容】

・少し遠く感じました。

・近くにコンビニがあるとさらに助かります。

・低価格で利用でき、いろいろ準備されていて助かりました。

・Wi-Fiが使えてよかった。

・長女の手術につきそう母親が妊娠4か月でつわりもあり、FHを利用した。病室とFHが遠すぎて歩くこともままならない。近くに車を止めるスペースが欲しいと感じました。また車いすも利用できればと感じました。

1. 癒しの飾りつけ：例年のように、患者家族へ季節を感じてもらえるよう玄関ホールや各宿泊室には、毎月季節に合わせた装飾を行った。
2. 佐賀大学医学部附属病院こどもセンター、新生児集中治療室にかかわる事業
3. 小児医療に関する普及啓発のための広報事業
4. 資金調達に関する事業

上記３項目については新型コロナウイルス感染症の影響を受け、活動できていない。